

成果指標				
成果指標	参加延べ人数(利用者数)			
指標設定の考え方	各サロンに獨創性を持たせ、地域間を越えた積極的な参加を図ることにより、参加者の増加に繋げ、高齢者の自立等を支援する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	9000	9000	9000	0
実 績	8202	7757	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度はサロン数・参加延べ人数の増加はみられなかった。各地位で開催されることで、高齢者同士の交流促進や閉じこもりの解消につながっている。今後も身近な地域で実施されるサロンは継続していきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	同事業は高齢者同士の交流促進や閉じこもりの解消に繋がっており、継続して事業を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業 (二次評価者コメント) 本事業については、各地域において特色ある取り組みを行っており、その事業効果を検証するため、行政評価委員会に諮る。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	<ul style="list-style-type: none">・地域のボランティアが中心とあるが、実際は押し付けである。特定の人に偏っていることを十分認識いただきたい。・この内容は敬老事業と同じものを感じる。・関わっているボランティアの意見やアンケートなどにより、事業のあるべき方法をみんなで考えることが必要である。・高齢者福祉サービスが手厚いというより、重複している部分がある。全部不必要とは言わないが考え直した方がよい。・使うのは各地域の集会所であり、社協が設置管理運営事業に関わっているわけでもない。それなら地域の小学校や中学校を開放するほうが、世代間交流も含め、新たな可能性が生まれるのではないかという印象を持った。・各サロンに独創性を持たせ参加者の増加を期待するとあるが、社協が窓口だとむしろ画一的にならないかと思う。・ボランティアに負う面が相当あるが、小さい頃からボランティア養成教育をしないと、将来なり手がなくなる。
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	地域の方から参加してみたいという要望もあり、今後少しずつふれあいいいききサロンを増やしていくこと。